

新害虫トマトハモグリバエの発生

平成13年6月、島しょ部地域の施設栽培キュウリに、本県で初めてトマトハモグリバエの発生を確認しました。

国内での発生

本来南米に分布しますが、平成11年には山口県・京都府で、12年には沖縄県・熊本県・長崎県など16府県（平成13年7月31日現在）で侵入が確認され、我が国での分布は年々拡大しています。

成虫の識別

成虫は既に発生しているマメハモグリバエと酷似しますが、肉眼では識別できません。

被害の状況

幼虫は作物の葉に潜り込み食害し、絵かき状の被害を与えます。

ウリ科・ナス科・マメ科・キク科・アブラナ科など多くの作物に被害を与えますが、特にキュウリ・カボチャ・メロン等ウリ科作物を好む点がマメハモグリバエと異なります。

トマトハモグリバエの成虫



トマトの被害



キュウリの被害



このハモグリバエの発生が疑われる場合は、
病害虫防除所または農業技術センター環境研究部へ連絡してください。